

EARTH MAN<sup>®</sup>

# 電動ドリルスタンド クイックバイス付(A)

## 取扱説明書

取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。



### お客様へ

●本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

## 各部の名称およびセット内容



クイックバイス×1



ベース×1



本体×1



ドリル固定ネジ(ナット付)×1



バイス用六角ボルト×2  
(ワッシャー・ナット付)



六角棒レンチ×1



φ38mmアダプター×1



φ42mmアダプター×1



支柱×1

※商品改良のため、仕様・外観は予告なく変更することがあります。また、写真と商品が異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

# 仕様

## 取付対応機種

- スピンドルカラーのサイズがφ43またはφ42またはφ38mmで、スピンドルカラーの形状がストレート状の電動ドリル

## ■製品仕様

高さ	約568mm ※1	対応ドリル径	φ43mm(アダプター使用時φ42・φ38mm)
幅	約150mm	深さ調整範囲	約0~60mm
奥行き	約278mm	ベースサイズ	約145×145mm
質量	約1.9kg(バイス除く)		

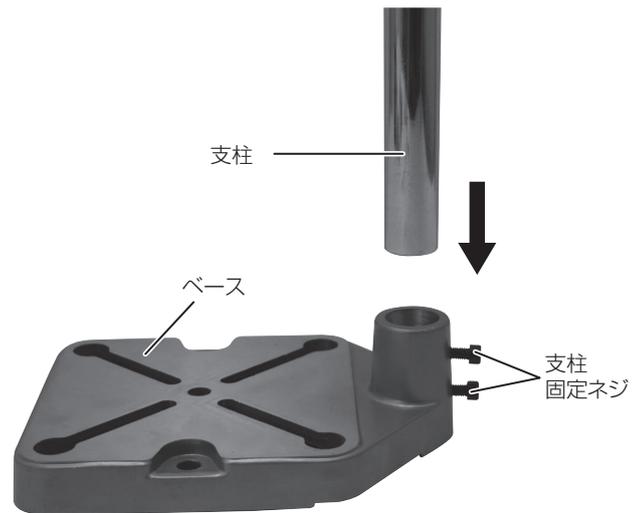
※1 高さは組み立てた状態で、穴あけサイズが設定されていない、ハンドルの高さが最大のときの高さです。

## 使用上の注意

- 組み立てや電動ドリルの取り付けは取扱説明書に従って確実に行ってください。
- 本製品は家庭用です。精度が必要な作業には使用しないでください。
- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆりみ・ひび割れなど異常がないことを確認してください。
- 電動ドリル差し込み口周辺に潤滑油など油が付着していないか十分に確認してください。
- 組立時は床面をキズつけないよう段ボールなどを敷くことをお勧めします。
- 必ずドリルスタンドのベース固定用ボルト穴(ボルト穴径:φ10mm)を使用し作業台など平らな面にしっかりと固定してから作業を行ってください。
- ※ベース固定ボルト(φ10mm)はセット内容には含まれておりません。市販の物をお買い求めください。
- 本製品はスピンドルカラー(首径)がストレート状の電動ドリルのみ使用可能です。スピンドルカラーがテーパ状になっている電動ドリルには使用できません。
- チャック部がキーレス仕様になっていたり、締め付けトルク調整機能が付いている電動ドリルには使用できません。
- 穴あけ作業は必要以上に強く押しつけず、適度な力で作業を行ってください。
- 加工物はバイスでしっかりと固定してください。
- バイスは加工物の寸法・穴あけ位置により固定位置を決め、ドリルスタンドのベースの溝にバイス用ボルト・ワッシャー・ナットを使いしっかりと2箇所固定して使用してください。
- 使用中、各部ネジがゆるんでいないか時折確認してください。
- 使用直後の加工物や電動ドリル本体は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。
- 使用しないときは、直射日光にあたらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。
- 作業場所はいつもきれいに保ってください。また、作業の妨げになる物は取り除いてください。
- 作業以外を近づけないでください。特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
- ガソリン・シンナー塗料・接着剤など引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。
- 作業に適した服装で作業してください。回転部に巻き込まれる恐れのある物は着用しないでください。
- 必ず保護メガネや保護マスクを着用してください。
- 電動ドリルの取り付けを行うときは、必ず電動ドリルのスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 使用する電動ドリル本体やドリル刃の使用法や注意事項をよく読み、正しく安全に作業してください。
- 取り付ける電動ドリル本体の試運転を行い、異常がないことを確認してください。異常がある場合は取り付けしないでください。
- 電動ドリルの機種によっては金属などの穴あけに適さない物もあります。お手持ちの電動ドリルの使用範囲を確認し、用途に応じたドリル刃を使用してください。

## 組み立て方法

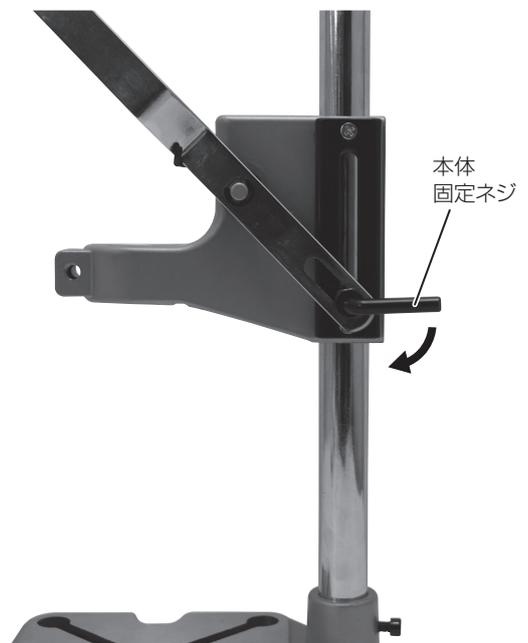
1. ベースに付いている支柱固定ネジ(2箇所)を付属の六角棒レンチを使ってゆるめてください。
2. キャップが付いていないほうを下にして支柱を差し込んでください。
3. 支柱がきちんと差し込まれたことを確認し、六角棒レンチで支柱固定ネジをしっかりと締めてください。



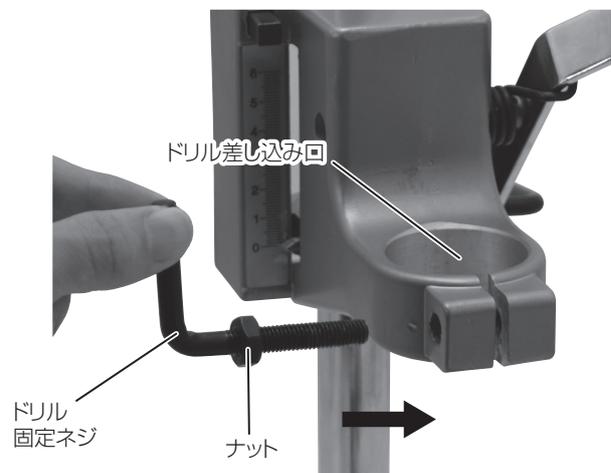
4. 本体を支柱上部から差し込む前に、本体固定ネジを部品から外れないよう十分注意しながらゆるめたうえで、差し込みを行ってください。その後本体固定ネジの締め付けを行ってください。

※ゆるめすぎることによって部品とネジが外れてしまわないよう十分注意してください。

※本体固定ネジを締めすぎるとハンドルの動きがにぶくなったり、本体側面をキズつける恐れがあります。



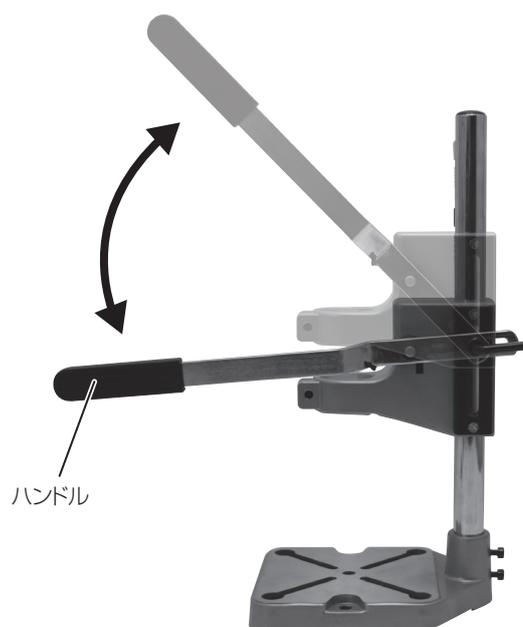
5. 本体のドリル差し込み口の左側にドリル固定ネジ(ナット付)を取り付けてください。



## 組み立て方法(続き)

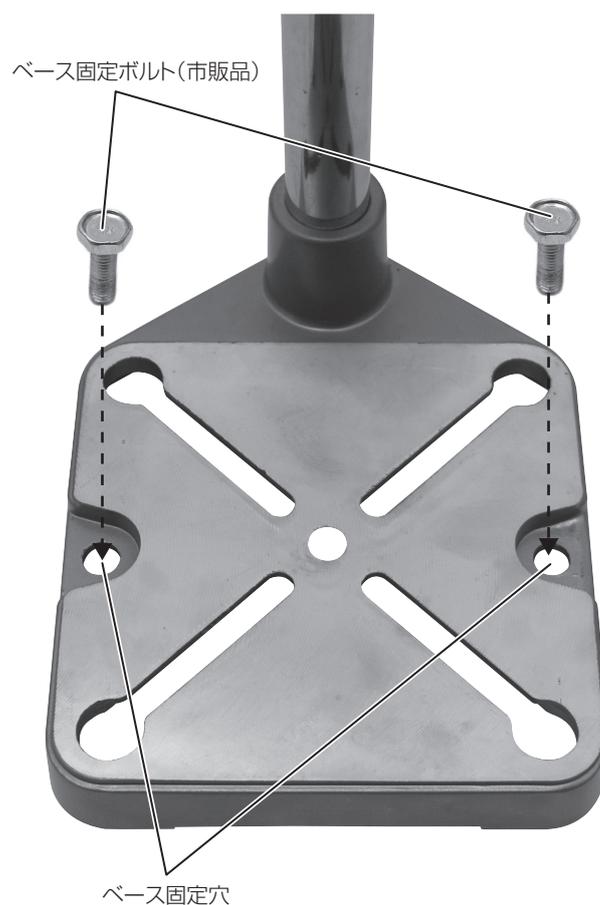
6. 組み上がったドリルスタンドを平らな場所に置き、安定しているか、またハンドルを上下に可動させ正常に動くかを確認してください。

※P4「穴あけ深さ調整」を参照し、深さ調整ネジを上げてからハンドルを上下に可動させてください。



7. 組み上がったドリルスタンドのベース固定穴にベース固定ボルト(ボルト穴径:φ10mm)を入れて作業台などにしっかりと固定してください。

※ベース固定ボルトは付属されていません。設置する場所に適した市販のボルトをお買い求めください。

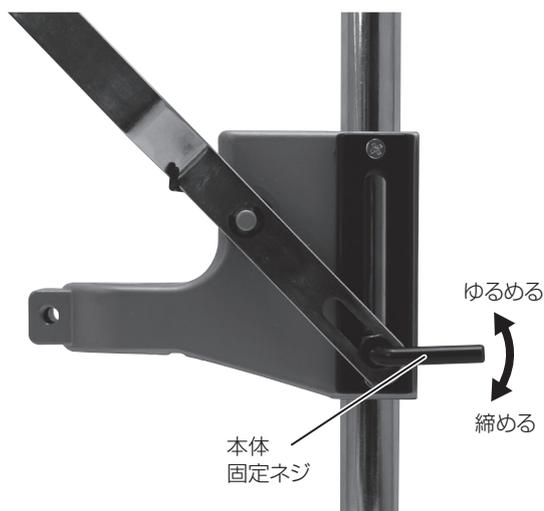


## 各部の調整方法

### 本体の高さ調整

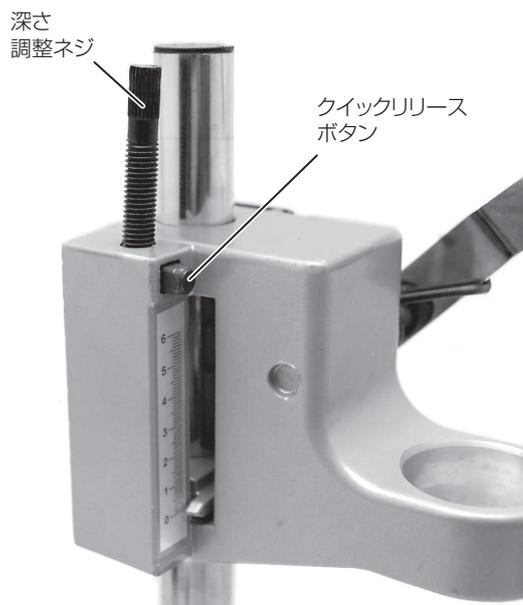
- 本体の高さを変更する場合は、本体固定ネジをゆるめ、本体を上下に動かしてお好みの高さに調整して本体固定ネジを締めて固定してください。

※本体固定ネジを締めすぎるとハンドルの動きがにぶくなったり、本体側面をキズつける恐れがあります。



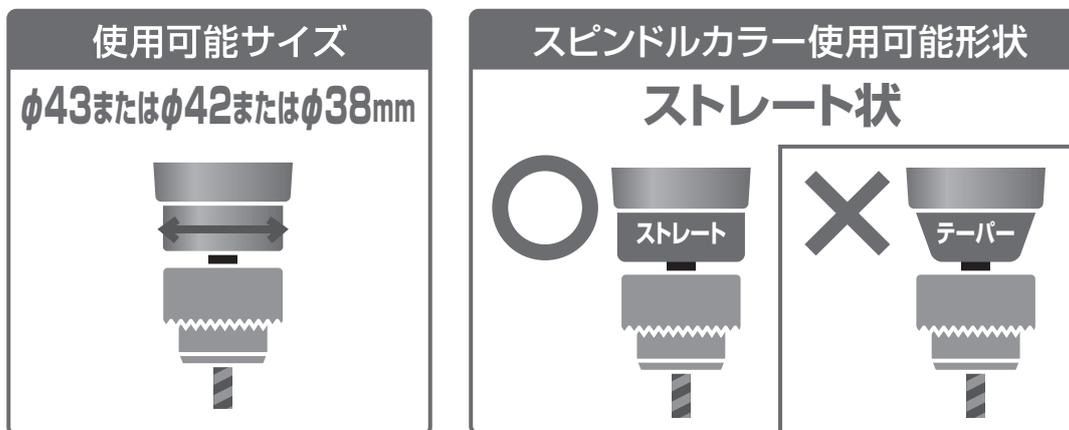
### 穴あけ深さ調整

- 穴の深さを調整する場合は、深さ調整ネジをゆるめる・締める、またはクイックリリースボタンを押して深さ調整ネジを上下させ、ハンドルを下して目盛(0~60mm)の位置を確認しながら調整してください。微調整を行う場合は必ず深さ調整ネジで行ってください。



# 電動ドリルの取り付け方法

- 本製品に使用できる電動ドリルはスピンドルカラーのサイズがφ43またはφ42またはφ38mmです。φ38mmとφ42mmサイズの電動ドリルを使用する場合はそれぞれサイズに合ったアダプターを使用してください。スピンドルカラーの形状がストレート状の電動ドリルのみです。



1.ドリル差し込み口に電動ドリルをスピンドルカラー部まで差し込み、ドリル固定ネジを締めて電動ドリル本体を固定してください。

2.電動ドリルにドリル刃をセットしてください。

※ドリル刃を下げきったときに、ドリル刃がベースを貫かないように調整してください。

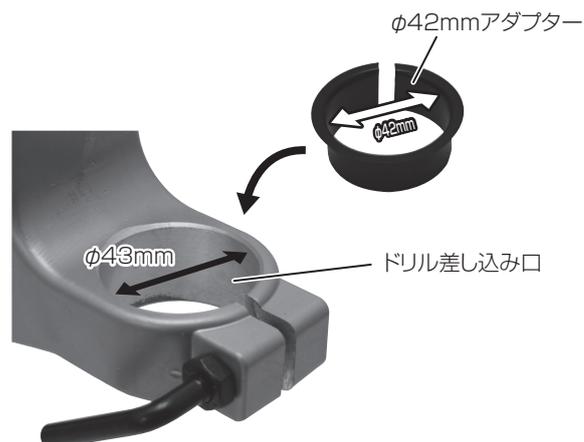
## φ38mmアダプターを使用する場合

- 電動ドリルのスピンドルカラーがφ38mmの物を取り付ける場合は、φ38mmアダプターをドリル差し込み口にセットして使用してください。



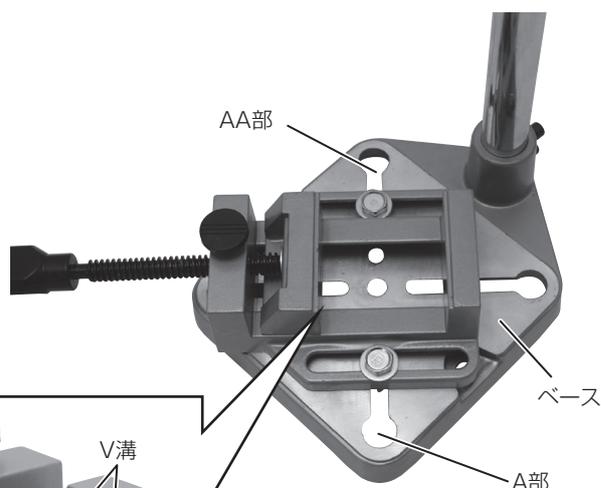
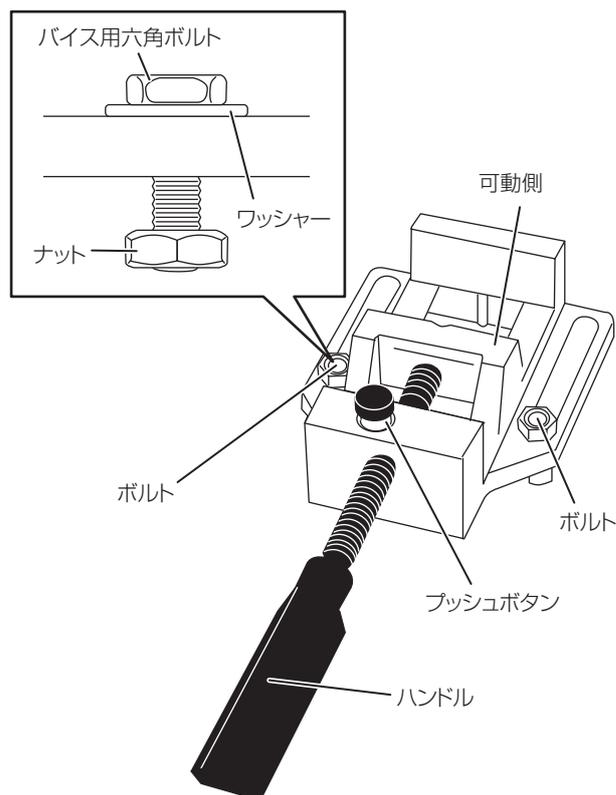
## φ42mmアダプターを使用する場合

- 電動ドリルのスピンドルカラーがφ42mmの物を取り付ける場合は、φ42mmアダプターをドリル差し込み口にセットして使用してください。

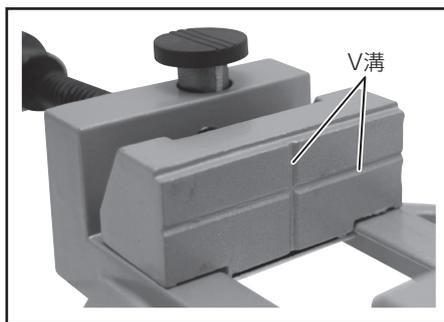


# バイスの取り付け方法

1. バイス両側面の溝にバイス用六角ボルト・ワッシャーを差し込み、裏からナットで軽く締めつけてください。
2. ベース上にある溝端A部に片方のナットを差し込みます。バイスとナットをスライドさせ、対称位置の溝端AA部にもう一方のナットを差し込みます。
3. バイスのプッシュボタンを押しながらハンドルを前後に移動させ、加工物を挟みます。ハンドルを回転させると加工物が確実に固定されます。
4. 加工物の寸法や穴あけ位置などにより、本体及びバイス固定位置を調整してください。
5. バイスをしっかりと固定する場合は、お手持ちのスパナなどを使用してバイス用六角ボルトを締め付けてください。
6. パイプや異型物などの加工は、バイス可動側にある「V」溝にあて、3.と同じ要領で締めつけてください。



最大口開き	約65mm
口の幅	約68mm



※バイスをボルト・ナットで固定しないときは、バイスをしっかり手で保持し、安全に加工をしてください。また、バイスを使用しない場合も、加工物をしっかり手で保持し、作業をおこなってください。

